



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月13日

上場会社名 イフジ産業株式会社 上場取引所 東・福  
 コード番号 2924 URL http://www.ifuji.co.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 宗徳  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役総務部長 (氏名) 原 敬 (TEL) 092-938-4561  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	11,007	1.4	489	△8.0	503	△8.0	421	6.5
29年3月期第3四半期	10,855	△1.9	532	19.3	546	17.7	395	28.6

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 438百万円( 4.8%) 29年3月期第3四半期 418百万円( 29.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	50.62	—
29年3月期第3四半期	47.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	11,103	5,166	46.5
29年3月期	10,650	4,869	45.7

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 5,166百万円 29年3月期 4,869百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	8.00	—	9.00	17.00
30年3月期	—	8.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
 平成29年3月期期末配当金9.00円の内訳 普通配当8.00円 記念配当1.00円

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,940	△2.2	678	2.2	683	0.4	448	△16.0	53.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	8,345,370株	29年3月期	8,345,370株
30年3月期3Q	15,677株	29年3月期	15,227株
30年3月期3Q	8,329,898株	29年3月期3Q	8,330,868株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用環境の改善が見られ緩やかな回復基調で推移したものの、海外における政治経済の不安定化や地政学リスクの高まり等を受けて、依然として先行き不透明な状況となっております。

食品業界におきましては、原材料価格の上昇や人件費の高騰等により商品の値上げが続いており、消費者の生活防衛意識が強まることが予想されます。

このような状況の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、調味料関連事業において前期に獲得した新規商品の販売減により減少したものの、鶏卵関連事業において販売数量が前年同期比2.5%増となったこと等により、前年同期比1.4%増の11,007百万円となりました。

損益につきましては、鶏卵関連事業において前期に実施した関東事業部の工場増設に係る減価償却費の増加や調味料関連事業の売上減少に伴う減益等により、営業利益は同8.0%減の489百万円、経常利益は同8.0%減の503百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、鶏卵関連事業において補助金収入116百万円を特別利益に計上したこと等により同6.5%増の421百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①鶏卵関連事業

当セグメントにおきましては、主要な商品である液卵の製品販売単価及び原料仕入単価が鶏卵相場に連動して変動するものが多く、鶏卵相場が高く推移した場合は製品販売単価及び原料仕入単価ともに高く推移し、低く推移した場合は製品販売単価及び原料仕入単価ともに低く推移する傾向にあるため、製品販売単価と原料仕入単価の差益を一定額以上確保するとともに販売数量を伸ばす努力をしております。

当セグメントにおける業績の重要な指標である販売数量につきましては、主要販売先である製菓・製パンメーカー向けへの販売が堅調なことに加え、冷凍食品メーカー向けへの販売が増加したこと等により前年同期比2.5%増となりました。売上高につきましては、主に販売数量の増加により液卵売上高は前年同期比2.1%増の9,362百万円となりました。また、加工品売上高は同8.5%減の462百万円、その他売上高は同25.4%増の311百万円となりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の合計の売上高は、同2.1%増の10,136百万円となりました。

セグメント利益につきましては、主に前期に実施した関東事業部の工場増設に係る減価償却費の増加により前年同期比4.3%減の449百万円となりました。

#### ②調味料関連事業

当セグメントの売上高につきましては、前期に獲得した新規商品の販売が減少したことや、当社グループ内での輸入粉卵の委託加工等の販売が減少したこと等により、前年同期比11.8%減の884百万円となりました。

セグメント利益につきましては、主に売上高が減少したことにより、前年同期比47.3%減の30百万円となりました。

#### ③その他

当セグメントにつきましては、売上高は前年同期比25.8%増の20百万円となり、セグメント利益は同132.7%増の9百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は11,103百万円となり、前連結会計年度末に比べ452百万円増加しました。

流動資産は5,755百万円となり、前連結会計年度末に比べ632百万円増加しました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加799百万円、商品及び製品の増加94百万円、現金及び預金の減少185百万円等によるものであります。

固定資産は5,347百万円となり、前連結会計年度末に比べ179百万円減少しました。主な要因は、建物及び構築物の減少84百万円及び機械装置及び運搬具の減少150百万円等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は5,937百万円となり、前連結会計年度末に比べ156百万円増加しました。

流動負債は3,318百万円となり、前連結会計年度末に比べ182百万円増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加407百万円、短期借入金の減少119百万円等によるものであります。

固定負債は2,619百万円となり、前連結会計年度末に比べ26百万円減少しました。主な要因は、長期借入金の減少57百万円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は5,166百万円となり、前連結会計年度末に比べ296百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益421百万円の計上及び配当金の支払い141百万円により利益剰余金が280百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の45.7%から46.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点においては不確定な要素もあることから、平成29年5月8日に公表しました通期の業績予想数値は変更しておりません。

なお、今後の業績動向に応じて業績予想に変更が生じる場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,138	1,953
受取手形及び売掛金	2,041	2,841
商品及び製品	527	621
仕掛品	60	46
原材料及び貯蔵品	241	245
繰延税金資産	23	20
その他	95	29
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	5,123	5,755
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,049	1,965
機械装置及び運搬具（純額）	1,381	1,231
土地	1,890	1,890
その他（純額）	28	61
有形固定資産合計	5,350	5,148
無形固定資産	23	17
投資その他の資産		
投資有価証券	134	156
その他	23	27
貸倒引当金	△4	△1
投資その他の資産合計	153	181
固定資産合計	5,527	5,347
資産合計	10,650	11,103

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	678	1,085
短期借入金	1,567	1,447
未払法人税等	125	70
未払消費税等	3	113
賞与引当金	59	34
役員賞与引当金	—	31
その他	701	534
流動負債合計	3,135	3,318
固定負債		
長期借入金	1,966	1,909
長期未払金	567	567
繰延税金負債	88	116
その他	22	25
固定負債合計	2,645	2,619
負債合計	5,781	5,937
純資産の部		
株主資本		
資本金	455	455
資本剰余金	366	366
利益剰余金	3,997	4,277
自己株式	△6	△6
株主資本合計	4,812	5,092
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56	73
その他の包括利益累計額合計	56	73
純資産合計	4,869	5,166
負債純資産合計	10,650	11,103

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	10,855	11,007
売上原価	9,059	9,235
売上総利益	1,796	1,772
販売費及び一般管理費	1,264	1,282
営業利益	532	489
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	1	1
受取賃貸料	18	18
その他	7	5
営業外収益合計	27	25
営業外費用		
支払利息	13	12
営業外費用合計	13	12
経常利益	546	503
特別利益		
投資有価証券売却益	—	5
補助金収入	36	116
特別利益合計	36	122
特別損失		
固定資産除売却損	6	0
特別損失合計	6	0
税金等調整前四半期純利益	577	624
法人税、住民税及び事業税	176	180
法人税等調整額	4	22
法人税等合計	181	203
四半期純利益	395	421
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	395	421



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	395	421
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22	17
その他の包括利益合計	22	17
四半期包括利益	418	438
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	418	438
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,923	916	10,839	16	10,855
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	87	88	—	88
計	9,924	1,003	10,928	16	10,944
セグメント利益	469	58	528	4	532

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	528
「その他」の区分の利益	4
四半期連結損益計算書の営業利益	532

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,135	851	10,986	20	11,007
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	33	34	—	34
計	10,136	884	11,021	20	11,042
セグメント利益	449	30	480	9	489

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	480
「その他」の区分の利益	9
四半期連結損益計算書の営業利益	489

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。